



スポーツ推進委員の役割は、本町でも全ての町民がスポーツやレクリエーション活動に様々な形で関わり健康で生きがいを感じることが出来るような、生涯スポーツの推進に取り組むことです。

目指す姿としては、町民一人一人の年齢、体力等にに応じて（いつでも、どこでも、いつまでも）スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画を図ります。また、地



デザイン：石ノ森 章太郎
生涯学習のマスコット“マナビイ”

NO.260

平成4年に体育指導委員を委嘱され22年、今年度からはスポーツ振興法が全面改正（平成23年6月）され委員の名称も変更となり、スポーツ推進委員になられた佐々木さんに田布施町のスポーツ推進計画について語って頂きました。

生涯スポーツの町田布施の実現に向けて

土井の内自治会 佐々木 光嗣^{みつぐ}

域スポーツ推進拠点整備、健康および体力の保持促進、障害者スポーツ推進に取り組んで参ります。

将来を担う人材を育成するため、心身の成長過程にある子どもたちがスポーツ活動を通じて生涯に渡って逞しく生きるための健全な心と身体を培い、豊かな人間性のかん養や学校体育の充実を図ります。また、スポーツの指導者やボランティアなどスポーツを支える人材の育成に取り組めます。地域の資源や特性を活かし、スポーツの持つ多様な力を様々な分野で活用した地域づくりを促進すると共に、町民が主体となったスポーツ推進活動を促進するための環境作りに取り組めます。施策推進の取組としては、スポーツ活動への参加の促進です。

最近のアンケート調査によると、過

去1年間にスポーツを行っていた人は55.4%と半数以上の人がスポーツを行っています。しかし、残る半数近くの方が過去1年間全くスポーツを行っていないと回答しています。こうした町民にスポーツへの関心を喚起し、それぞれの適正等に応じたスポーツ活動への参加意欲を高めていくことが必要です。

全くスポーツ活動を行わなかった人が今後してみたいと回答したスポーツは（ウォーキング・散歩・体操（軽い）・ラジオ体操）等、気軽に行えるスポーツが上位を占めています。こうした町民に對しそれぞれの適正等にあった、スポーツ活動への機会を増やしていきます。

スポーツ活動への積極的参加に向けた普及・啓発の取組としては、スポー



第33回田布施川さくら健康マラソン

ツに對するさらなる関心と理解を深める一立場からの積極的な参加を促進するため、町内のスポーツ推進委員は新たなスポーツイベントの開催や現在開催しているスポーツについて検討や見直しをいたします。多くの町民がスポーツへの関心を深め、自主的にスポーツに親しむことが出来るように各関係機関や関係団体のイベント情報などを町の広報やホームページに記載し啓発を図ると共に、報道機関へのスポーツに関する情報の積極的な提供に努めます。

最後に、これからも微力ではありますが、スポーツを通じ行政と町民のパイプ役として本町のスポーツ全般に協力して参ります。

東日本大震災

田布施中学校 校長

厚東 和彦

2011年3月11日金曜日。忘れもしない、東日本大震災。あのテレビに映し出された津波や火災の映像は映画のようでした。

そのニュースに衝撃を受けていたとき、2000年に語学研修のためニュージーランドで半年を過ごし、苦楽をともにしたメンバーだった福島県やその近隣の茨城県、群馬県の先生方の顔が頭をよぎりました。

地震発生の翌日から、携帯電話やメールで先生方の安否を確認しようとしたが、呼び出し音が延々と鳴り響くだけでした。

地震発生から3日後、群馬県の先生から無事を知らせるメールが届きました。茨城県の先生とも電話がつながり、元気な声を聞くことができました。そして5日後、一番の被災地である福島県の先生と連絡が取れ、全員無事であることが確認でき、本当に嬉しかったのが昨日のことのようです。

しかしその後、被災地に対する風評被害、被災者への心ない言動等がテレビや新聞で報じられました。「福島ナンバーの車は来るなと言われた」「避難先の転校した学校で心ない言葉を言われた。」等、心が痛むようなニュースが報道されたのです。

被災者に罪はなく、むしろ、家族を亡くされたり家屋が流されたりして心に大きな傷を負っておられる方々です。少し考えれば、被災者の皆さんの状況は理解できるはず。それだけに、こういったニュースは残念でなりません。

我々にとって一番大切なのは自分自身のことですが、社会で生きていく以上、周りの人たちへのさげない心遣いや優しい声かけなどはとても大切なことだと思えます。田布施中の生徒には、そういうことができる社会人に成長してほしいと願っています。

福島県の先生は幸いにも大きな被害を免れ、御家族も全員無事で、現在元気に仕事をしておられます。ニュージーランドから帰国して始めた先生方とのメールのやり取りは、現在も続いています。



ゴールに向かって、一生懸命ドリブル！

第166回

サークルスケッチ

東田布施サッカースポーツ少年団

東田布施小学校



僕たち東田布施サッカースポーツ少年団は、2年生から6年生までの総勢25人(男子19人、女子6人)で、東田布施小学校をホームグラウンドに活動しています。

毎週土曜日14時からが全体練習の日で、みんなで頑張っています。その練習の成果を試合で発揮したいと思っていますが、残念ながらなかなか勝てずになります。でもユニフォームはともかくいいです。よくサンフレッチェがいるって言われます。

試合以外にも年間を通じて色々な行事があります。親子サッカーやキャンプなどです。親子サッカーではお父さんやお母さんと勝負しますが、いつもけちよんけちよんにやられてしまいます。大人気ないです。でも楽しいです。いつか勝つてやる！

夏にはキャンプをします。練習の後にみんなで食べるバーベキューは最高です。肝試しもします。頭では分かっている、いつもボーカルフフェイスで頑張っ

ています。が正直とても怖いです。特に監督の前説がたまりません。けど最後はみんなと色々な話をしながら一緒に寝ます。今年も楽しみです。

他にもカラオケに行ったりします。たまに勝った時に保護者の方がくれるご褒美です。あめとむちだつて言っていました。

こんな僕たちと一緒にサッカーを楽しみませんか。気軽に見学や体験に来てください。一緒に熱い汗を流しましょう。お待ちしております。



東田布施サッカースポーツ少年団のメンバー